

令和2年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

兵庫県

行事名称	鶴林寺消防訓練（文化財防火デー）
実施期間・日時	令和3年1月24日（日）8：30～9：00
実施場所	国宝鶴林寺本堂、太子堂ほか（兵庫県加古川市加古川町北在家424番地）
主催者	鶴林寺、加古川消防署、加古川市教育委員会

■実施内容

訓練の想定

強風及び乾燥注意報が発表されている中、鶴林寺「本堂」から出火、鶴林寺自衛消防隊が初期消火を試みるも、炎は建物全体へと拡大し、強い北西の風にあおられて隣接する「太子堂」に延焼する危険が高い状態である。また、初期消火の際に鶴林寺関係者1名が煙を吸い気分不良を訴える、と想定。

訓練の内容

鶴林寺関係者による火災発見、通報。鶴林寺自衛消防隊の消火器による初期消火及び易操作性消火栓による消火を実施。消防署による人命救助活動、本堂内の仏像等（模擬）の搬出。消防署、消防団による放水訓練。

参加者及び役割分担

加古川市長 講評
 鶴林寺自衛消防隊（7名）：119番通報、初期消火及び消火
 加古川市消防署（28名）：全体統括、人命救助、仏像等重要物品の搬出、放水訓練、講評
 加古川市消防団（7名）：放水訓練
 加古川市教育委員会（1名）：現場立会、記録

特に工夫した点

今年度、老朽化していた動力ポンプを更新し、また、消火栓及び煙感知器を増設したところであり、訓練ではそれらの操作方法や性能を確認できるよう考慮して内容の想定をした。

問題点・課題

今回、特に問題点は見受けられなかった。

その他

毎年文化財防火デーに合わせて消防訓練を実施することで、市民の文化財保護意識の高揚を促すとともに、消防署、消防団及び自衛消防隊の連携強化を図り、文化財の保護に資するよう、今後も継続して実施していくことが重要である。

訓練風景



初期消火



一斉放水